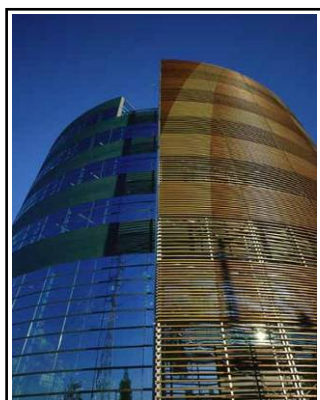


**In
Focus****事例紹介 1**

マクドナルド フィンランド本社社屋 竣工 1997 年

McDonald's Finland Headquarters, Helsinki, Finland

設計 Heikkinen-Komonen Architects <http://www.heikkinen-komonen.fi>

マクドナルド・フィンランド本社社屋は、サーモウツの生産が商業ベースに乗って最初期に建設された大型オフィスビルの事例のひとつです。社屋は1997年に竣工し、上の写真は、竣工後9年経った2006年9月に訪れた時に撮影したものです。

一階に、マクドナルドの店舗、上層階には、研修センターとオフィスフロアが在り、マクドナルドの既存のイメージにとらわれない平面プランは、円形で、建物全面がガラスのカーテンウォールで囲まれたガラスの塔ですが、建物の南半分には、サーモウツを集成して作られた屋外ルーバーで覆われ日除けが施されています。

防腐処理されていないサーモウツのルーバーは、竣工後メンテナンスもされていない様子で、材の色は自然に退色していますが、集成部分の接着剥離や材割れなど見受けられませんでした。

In
Focus

事例紹介 2

ラハティ冬季競技博物館アネックス 竣工 1999 年

Museum of Winter Sports Annex, Lahti, Finland

設計 Pekka Salminen Architects <http://www.salminen.com>



ラハティ冬季競技博物館アネックスがあるラハティ市は、ヘルシンキ市から北へ約 100km ほど北に位置し、古くからフィンランドの家具生産の中心地として栄える産業都市です。また、美しい木造建築のシベリウス・ホールで開催されるコンサートや、冬季スポーツの国際的イベントが開かれるフィンランド内陸部での文化・スポーツのメッカとしても広く知られています。

クロスカントリースキーやジャンプ競技の世界カップが例年開催されるラハティ・スポーツセンター内に、冬季博物館は在り、1999年に造られたアネックス（増築部分）のダイナミックなファサード全面にサーモウツドの羽目板が使用されています。

上にある写真は、2006年9月に撮影したもので、施工7年経った今も過酷な環境にも耐えている様子がわかります。